

スマート看護福祉研究会

支援概要

地域中核病院のリハビリテーション科や看護大学、ものづくり企業等が連携して、新たなリハビリテーション用の器具等の開発・試作を行いながら、迅速・安価に供給するシステムを確立し、ADL（日常生活動作）支援のための器具等の供給ビジネスを地域産業として創出する活動を行っています。

製品の開発と並行して、福祉用具を販売につなげていくための市場参入セミナーを開催しました。

支援経緯

「長野県ものづくり産業振興戦略プラン」の上伊那地域の取組である「日常生活動作（ADL）支援産業の集積形成」の推進組織としても位置付けられている。病院のリハビリテーション科や介護施設のニーズに基づき、自立歩行困難な人が、自宅などで日常生活を営むための器具等の検討を重ねてきている。研究会には椅子の製造や介護用品の販売を行っている企業、3Dプリンタでものづくりを行っている企業などがおり、それらのノウハウを融合させて試作を実施し、効果を病院や介護現場などで検証しながら、製品化・事業化するための支援を行いました。

活動実績・成果

研究会開催：6回

参加人員：58名（延べ）

内 容：介護用椅子（2次試作）の検討

ADL支援・介護製品開発・普及支援セミナーの開催（共催）

・開催日：令和3年2月18日

・場所：伊那技術形成センター研修室

講演①「福祉用具の動向と開発・普及にあたってのポイント、留意点」

（公財）テクノエイド協会 企画部長

五島 清国 氏

講演②「福祉用具市場参入への仕組み、販売について」

（株）日本ケアサプライ首都圏第二

ブロック副ブロック長

佐藤 真寿 氏

・参加人員：20名

・成果：介護用椅子の試作品（第2次）が完成しました。また、福祉用具として販売していくために必要な条件や市場参入方法などについて理解を深めることができました。



セミナーの様子



試作品

ロボット導入支援事業

支援概要

ロボット導入前の適切な課題分析～準備が不足していることにより、狙い通りの導入目的が達成できていないという経営者の声が多く聞こえます。そこで、IE（Industrial Engineering）手法を用いた課題分析から解決策立案まで、座学と演習を組み合わせる講座を実施しました。座学では、IE手法の概論や7つ道具の説明を、改善の事例や動画も活用して実施しました。また演習では、ブロックの模型を使い、組立作業時間の短縮を目的としたグループワークを実施しました。IE手法の知識を取得するだけでなく、実践で活用できるスキル取得を目指しました。

支援経緯

中小企業は、省人化・高効率生産化を強力に推し進めてグローバル競争力を高める必要に迫られています。

そこで、当センターでは南信州・飯田産業センターと協力して、2018年度からシリーズで産業用ロボット導入セミナーを開催してきました。

しかし、ロボット導入前に行うべき課題の明確化や小改善による課題解決ができていないことで、市場環境や4M変動への対応ができず、本来のロボット導入の目的が十分に達成できていないという課題がありました。

そこで2020年度は、IE手法を用いた課題分析から解決策立案まで、座学と演習を組み合わせるセミナーを実施しました。

活動実績・成果

- ・開催日；
第1回：令和3年1月14日
第2回：令和3年1月21日
- ・場所；伊那技術形成センター（伊那市）
- ・講師；E & Eソリューション
代表 相吉 一浩 氏
- ・内容；
座学：IE手法の紹介
演習：IE手法全般の実践練習
- ・参加人員；10名（新型コロナウイルス感染症対策として少人数で実施）
- ・成果；IEの基礎が理解でき、5Sや標準時間設定の重要性を理解できたとの声が寄せられました。ロボット導入前の課題分析や小改善の重要性を理解していただくことができました。



座学の様子



演習の様子

リサイクルシステム研究会

支援概要

伊那谷の異業種19社で構成する研究会で、科学技術や環境問題に対する意識を高め、循環型社会の形成に向けた地域の課題解決や未来を担う人材を育成する活動を行っています。

活動は現在第3ステージに入り、SDGsや気候変動への対応が求められる中、「伊那谷地域における自然エネルギーによる地産地消モデル」を構築するための活動を行っています。具体的には、エネルギーの有効利用（省エネ）や再生可能エネルギーの導入に関するセミナーの開催、先進的な取り組みの事例紹介や現地視察などを実施、産業界からゼロカーボンに向けた取り組みを推進していくとともに、持続可能な地域づくりのための産学官の連携体制の構築を図っています。

支援経緯

産業（企業）の発展と自然環境の共生を図るために、調査研究・情報提供事業として、平成2年6月に「産業廃棄物等の適正処理についての研究会」を7社10名で発足、その後環境問題がクローズアップされてきたことから平成5年に現在の「リサイクルシステム研究会」に改称、活動範囲を広め、循環型社会の形成に取り組んできました。

活動実績・成果

＜エネルギー有効利用セミナー開催＞

- ・開催日；令和2年11月13日
- ・場所；伊那技術形成センター研修室

講演①「省エネルギーの進め方と無料診断事例」（一財）省エネルギーセンター 鈴木 伸隆 氏

講演②「やさしいエネルギー有効利用事例の紹介」
上伊那電気主任技術者協会会長
下島 岩男 氏

・参加人員；41名

＜伊那谷自然エネルギー地産地消セミナー＞

・開催日；令和3年2月15日

・場所；伊那技術形成センター研修室

講演①「エネルギー自立地域の確立に向けて」
信州大学人文学部 准教授 茅野 恒秀 氏

講演②「2050ゼロカーボン社会の実現に向けて」
長野県環境部ゼロカーボン推進室
室長 柳原 健氏

講演③「バイオガス活用事例：自立分散型の循環のまちづくり」
アミタ株式会社社会デザイングループ
宍倉 恵氏

・参加人員；83名（オンライン含む）
・成果；エネルギーの有効利用（省エネ）への取り組み方、ゼロカーボンの国・県の動きと再エネの導入を地域の課題解決にどう結び付けていけばよいかについて学び、行政・産業界などが、各々の取り組みに活かしていただく機会とすることができました。



セミナーの様子